

要塞地寫生願ひの書式

△要塞地(三浦鎌倉地方)を寫生するには左の願書に返信郵券三錢を封入して在横須賀東京灣要塞司令部へ宛て出願さるべし横須賀近傍(第一區)は到底許可にならざるも逗子や鎌倉近處なら直様許さるべし

寫真撮影(模寫)願 (雛形)

一目的 紀念(研究)

一位置 何郡内何町、何村、山、川、

一期限 自何年何月何日至何年何月何日

右御許可被下度要塞地帶法施行規則第四條に基き此段奉願候也

明治何年何月何日

住所 姓 名

生年月

東京灣要塞司令官伊知地幸介殿

問に答ふ

注

水彩畫に關係あるものに限る◎印は答。一般に對して利益なきものは載せず

■1東京で苦學して出来る繪畫に關する職業の給料順序等を知りたし、但し畫家、教

育家は別として2大下先生の東西社から出た繪葉書は本誌口繪の如き出來榮なりや(長野K O生)◎1石版の製版師などで、他に適當と思ふ仕事を知らず、製版師は五六年で一人前となり二三十圓より五六十圓位ひの報酬あるべし、詳しくことは其道の人に問はれよ2石版としては成功せしものなり■1毛筆線畫を學ぶによき臨本ありや2日本畫にて習得せし線は水彩畫に應用し得べきや(旭川愛讀生)◎別に適當と思ふ臨本なし尤もドノやうな繪をかくのにも(模様でも漫畫でも)一通り黒繪の正しき線や濃淡の心得なくしては立派なもの出來ず、夫故矢張り鉛筆畫を學ぶ必要あり2水彩畫は無線であるから其儘應用は出來ぬが、日本畫の線を働かすことは筆者の工夫にあるべし■1水彩畫階梯に夕の空を寫すに「夫より上部に漸次色の劣りし黄色」云々とあり其黄色は何なりや2要塞地寫生の許可を得て寫生したるものは完成後當局者に一見を乞ふ可き者か3反對美とは何を申にや4葉書大の繪畫を送るには如何にしてよきからローシーナ、バアントシーナ等

使用する時小粒を生ず如何にしてよきや6調子の高き又は低き色とは如何なることにや(曙町晚秀生)◎1此際の色は劣りしといふは明度の劣りしといふ意味、即ち上部にゆくに順ひ色の暗くなるをいふなり2許可證の裏面にある通り3多く用ゐらるゝ言葉にあらず、只反對美にては不明今少し詳しく問はれたし、色の反對によつて美を生ずるは、例へば赤の傍に綠といふ様に剛性的美を見るべく、濃淡の反對としては純白の傍に眞黒といふが如く反對によつて美觀と呈することあり4普通郵便にても開き封にても可なり、但開き封の中へ郵券を共に入るべからず5繪具の古き爲ならん練直して見給へ6調子の高いとか低いとかは繪の上に云ふべく、色の上では多く強いか弱いかいふなり、これは色としては積極的なものは即ち調子の高いので、消極的は其反對なり■1水彩畫法に筆遣ひといふことありや2水彩畫にホワイトを使用するの利害3パステル畫は各店に販賣する蠟べにて代用し得べきや(二戸TF生)◎一定せるものなし、其寫すべきものに倣ふて尤